

串間市小学校体育連盟ポスターセッション発表

串間市小学校体育連盟

串間市小学校体育連盟
研究部長
串間市立有明小学校
教諭 桑田高明

研究主題

運動の楽しさや喜びにふれ、生涯にわたって運動に親しむ能力を育てる体育学習を目指して
～「表現リズム遊び」「表現運動」指導の工夫・改善を通して～

I 研究目標

教師の指導力の向上を図り、児童が豊かなコミュニケーション能力を身に付け、表現運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業づくりを究明する。

II 研究仮説

「表現リズム遊び」「表現運動」において、指導に有効な資料や教具等を整備し、指導内容や方法について共有することができれば、教師の指導力の向上につながり、児童も表現運動の楽しさや喜びを味わうことができるであろう。

III 研究計画

研究年度	26年度	27年度	28年度
研究内容	(1) 実施 (2) 指導内容の確認 (3) 実践授業による指導過程の検討 (4) 資料・教具等の整備・作成	(1) 資料・教具等の整備・作成、配付 (2) 模擬授業研究会	(1) 研究のまとめ (2) 実施調査 (3) 授業研究会

IV 昨年度の研究内容

- (1) 資料・教具等の整備・作成、配付
- (2) 模擬授業研究会の実施

平成27年度串間市小学校体育連盟の研究について発表いたします。

研究主題ですが、「運動の楽しさや喜びにふれ、生涯にわたって運動に親しむ能力を育てる体育学習を目指して」とし、副題を「表現リズム遊び」「表現運動」指導の工夫改善を通してとしました。本研究は平成26年度から平成28年度本年度までの3か年で行っております。

研究目標は「教師の指導力の向上を図り、児童が豊かなコミュニケーション能力を身につけ、表現運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業づくりを究明する」として、

研究仮説を「表現リズム遊び、表現運動において、指導に有効な資料や教具を整備し、指導内容や方法について共有することができれば、教師の指導力の向上につながり、児童も表現の楽しさや喜びを味わうことができるであろう」といたしました。

研究計画です。

昨年度は 1 資料教具などの整備、作成、配布。

2 模擬授業研究会を実施しました。

V 研究の実際

V 研究の実際

1 資料・教具等の整備・作成、配布

平成25年度に表現の指導について指導者（教職員）に実態調査を実施

結果

- 表現の授業を指導する際に、すぐに使える音源などの教材がほしい
- 授業の進め方が分かるような資料がほしい

そこで、指導に必要な（1）資料や教具を整備し、（2）指導内容や指導方法について共有することで、表現の指導を充実させることができると考えた

研究の実際です。

まず、資料・教具などの整備、作成、配布を行った経緯についてですが、平成25年度に表現の指導について指導者（教職員）に実態調査を実施したところ、「表現の授業を指導する際に、すぐに使える音源などの教材がほしい」や「授業の進め方が分かるような資料がほしい」などの声が多数あげられました。このアンケート結果を受け、指導に必要な（1）資料や教具を整備し、（2）指導内容や指導方法について共有することで、表現の指導を充実させることができると考え、研究を進めていきました。

V 研究の実際

(1) CD・イメージカードの作成

表現の授業で活用した、または活用できそうな曲を各学校の体育主任を中心に選曲

各学年ごとに活用しやすい曲に選別し、編集したものをCDにした

それぞれの曲に合うイメージカードを作成
 ・ その際、児童が発想しやすいよう意図的配慮として
 （低学年）文字入りのカード
 （中・高学年）文字なしで写真や絵のみ とした

教具の作成として、CDとイメージカードの作成を行いました。作成の流れとしましては、

表現の授業で活用した、または活用できそうな曲を各学校の体育主任を中心に選曲したあと、

さらに、学年部ごとに活用しやすい曲に選別し、編集したものを1枚のCDにしました。

V 研究の実際

実際に編集した曲のリスト

表現・ダンス ～おどらにゃ SONGS～		
	ウォーミングアップ	①・②
	リズムダンス	③・④
低学年	乗り物	⑤・⑥・⑦
	動物	⑧・⑨
中学年	ジャンプ	⑩・⑪
	ジャングル	⑫・⑬
	宇宙	⑭・⑮
	海底	⑯・⑰
高学年	フォークダンス	⑱・⑲
	対決!	⑳・㉑
	大変だ!	㉒・㉓
	クールダウン	㉔・㉕

そして、それぞれの曲に合うイメージカードを作成するという流れであります。※低中高の発達段階を踏まえ、工夫して作成しました。

CDは、曲名ではなく、学年やどんな表現の場面で使えるイメージの曲なのかが分かるようにタイトルをつけたり、CDの中からイメージする曲をすぐに探し出せたりできるようにし、各学校へ配付しました。

V 研究の実際

イメージカード例

低学年用



中・高学年用

また、イメージカードも、CDとセットにして授業ですぐに使えるように、各学年に応じてラミネートしたものを各学校で作成しました。そして、児童の発想を広げるという意味で、低学年には文字を入れたもの、中・高学年はイメージする絵や写真だけのものを意図的に作成しています。

V 研究の実際

(2) 指導内容や指導方法の共有

文部科学省から各学校へ配布されている資料集を中心に指導することを確認

各学校の実態に応じた指導方法を考える

実践して、効果的な指導方法や教材教具について情報交換



指導内容や指導方法の共有です。文部科学省から各学校へ配布されている資料集を中心に指導することを確認したうえで、各学校の実態に応じた指導方法を考えていきました。実践して、効果的な指導方法や教材教具について情報交換を行い、指導力の向上につなげていきました。

V 研究の実際

2 模擬授業研修会の実施

平成25年度に作成した表現の授業の基本的な単元計画を再度確認するため

- 単元の流れの確認
- 1単位時間の模擬授業研修会の実施

模擬授業研修会の実施についてです。

「単元の流れの確認」をして「1 単位時間の模擬授業研修会」を実施しました。

V 研究の実際

「表現運動」の授業における基本的な単元計画と1単位時間の流れ

よりエンタテインメントでは、文部科学省から各学校に配布されている「読書資料」等を活用し、表現とはどのようなものか、学習者自身のように進んでいくのかを重点に理解させる。

単元	1	2	3	4	5	6	
よりエンタテインメント 学習のねらいをつかむ	【ねらい①】 いろいろなイメージを、ひと流れの動きで即興的に表現する。 即興的な表現 テーマ①	【ねらい②】 好きなイメージを選び、グループのひとまとまりの動きにして表現する。 グループで 動きを伝える 表現を確認	【ねらい③】 表現したいイメージについてグループで相談する。	【ねらい④】 表現したいイメージが強調されるよう、イメージカードを組み合わせてひとまとまりの動きを考える。	【ねらい⑤】 見せ合って感想を出し合う。	【ねらい⑥】 学習のまとめをする。	
1 課題の確認をする。	1 単元運動・ウォーミングアップの運動を行う。	2 学習のねらい・進め方を確認する。	3 テーマからのイメージを、いくつか全員で見る。	4 グループでいくつかイメージを選び、ひとまとまりの動きにして表現する。	5 グループで、好きなイメージを1つ選び、ひと流れの動きにして表現する。	6 グループで考えたひと流れの動きを見せ合う。	7 学習のまとめをする。

ねらい①では、「イメージカード」等を使い、テーマに沿ったイメージを即興的に表現させる。その際、児童により多くのイメージを凝縮させておくことが重要である。

ねらい②では、ねらい①での経験を基にして、表現したいイメージでグループに分かれ、ストーリー性のある「ひとまとまりの動き」を表現させる。

これが「表現運動」の授業における基本的な単元計画と1単位時間の流れになります。縦軸が1単位時間の流れで、横軸が単元全体の流れとなっています。ここで押さえてほしいのは、ねらい①では、「イメージを即興的に表現する」とこと、ねらい②では、「ひとまとまりの動きを表現する」というポイントを指導者がしっかり意識し、指導することを共通理解しております。

V 研究の実際

(3) 各校で表現運動に関する研修等の実施

それぞれの学校において、授業研究会、職員研修、研修報告により、「表現リズム遊び・表現運動」に関する基本的な単元計画や1単位時間の流れ及び、整備した資料・教具等の使い方について伝達を行った

伝達、実践した各学校での取組を記録としてまとめた



次に、各校での表現運動に関する研修等の実施について説明いたします。各学校の職員を対象に研修会を実施し共通理解して、実践につなげていきました。

V 研究の実際

(参考資料) 学校の取組例

学校名	大東小学校
実施内容	<p>○ 第6学年で表現運動の授業を実施 小体連で作成したイメージカードやBGMを使い、第6学年において表現運動を行った。グループごとにテーマを選び、最後に発表会を開くという目的をもたせた上で、動き考えさせた。グループ内で意見を出し合い、リークシートに「始め→中→終わり」の流れを書いたり、実際に動いたりしてテーマに合った動きを考え、発表会まで開くことができた。</p>
成果と課題	<p>① 流れを考える。 ② 動きを考える。 ③ 発表する。</p> <p>○ イメージカードやBGMがあることで、児童が想像を膨らませるきっかけができ、表現運動に活かすことができた。 ○ 冬季休業中に、日南市で行われた県学体研の報告やイメージカードや表現運動についての紹介など、研修を行った。今後、全職員で取り組めるようにしていく必要がある。</p>

これは、学校の取組例です。実施内容を挙げ、成果と課題をまとめ、実践集にしました。

VI 成果と課題

【成果】

- CDやイメージカードを作成・整備した結果、**児童の反応がよくなり、授業しやすくなった。**
- 職員研修等で「表現リズム遊び・表現運動」に関する基本的な単元計画や1単位時間の流れ及び、整備した資料・教具等の使い方について紹介したことで、**基本的な指示や指導法を共有でき、理解できた。**



最後に成果と課題です。まずは成果ですが、CD やイメージカードを作成・整備した結果、児童の反応がよくなり、授業しやすくなった。そして、職員研修等で「表現リズム遊び・表現運動」に関する基本的な単元計画や1単位時間の流れ及び、整備した資料・教具等の使い方について紹介したことで、基本的な指示や指導法を共有でき、理解できた。

VI 成果と課題

【課題】

- 指導法の紹介はできたが、実践するまでには至っていない。**年間指導計画を見直して単元をどう取り入れていくかを考える必要がある。**
- 小規模の学校では、表現したものを互いに見せ合うことができない。そのため、各学校の実態に応じ、**表現したものを発表する場を計画的に設定する必要がある。**



課題については、指導法の紹介はできたが、実践するまでには至っていない。年間指導計画を見直して単元にどう取り入れていくかを考える必要がある。小規模の学校では、表現したものを互いに見せ合うことができない。そのため、各学校の実態に応じ、表現したものを発表する場を計画的に設定する必要があるという課題が挙げられました。



ご清聴
ありがとうございました

今年度は昨年度の課題を解決し、3か年のまとめの年にしていきます。ご清聴ありがとうございました。